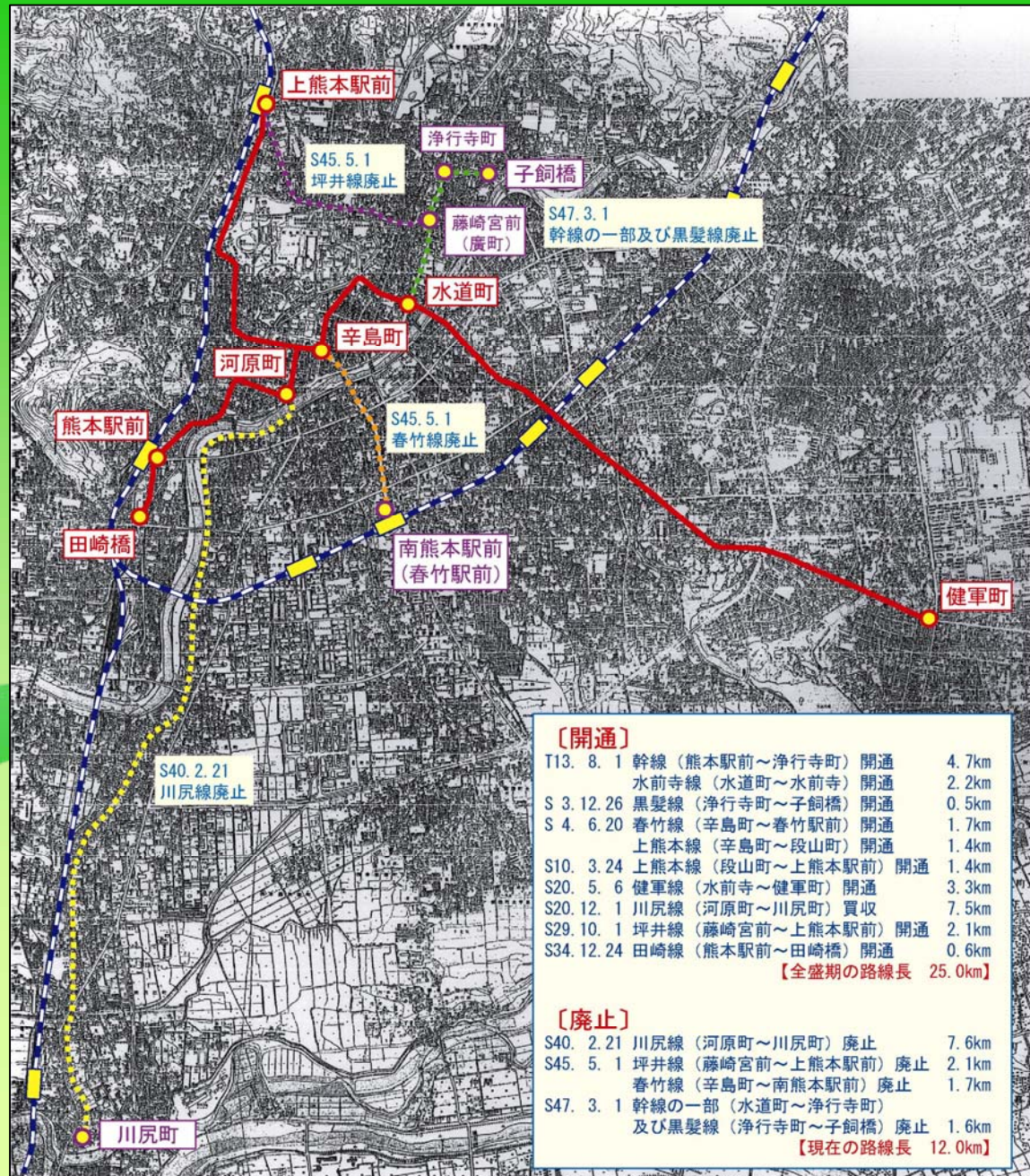


熊本市交通局における 路面電車活性化への取り組み

平成20年9月30日

熊本市交通局

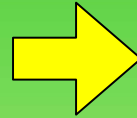
市電路線の変遷



熊本都市圏交通の現状と課題

市電の現状

- ・ 景気の低迷
- ・ 大型商業施設の郊外進出
- ・ 中心市街地の求心力低下
- ・ 免許取得の増加



市電利用者の減少

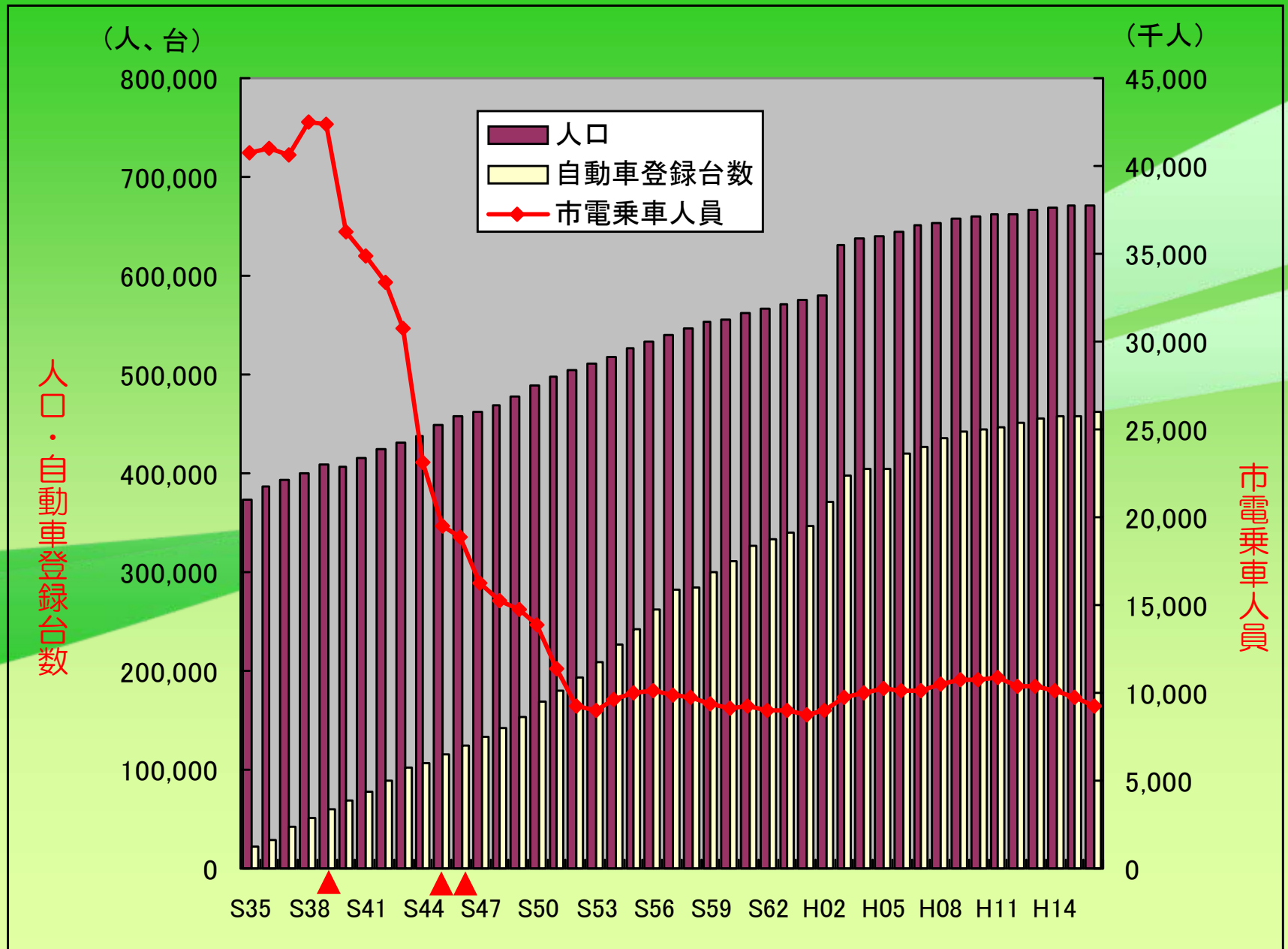
都市圏交通の現状

- ・ 市電はバス路線と完全競合
- ・ 複数のバス事業者が運行して供給過多
- ・ 公共交通機関空白地帯もある

都市圏交通の課題

- ・ 市電とバスの役割分担
- ・ バス路線網の再編
- ・ 基幹交通としての市電の整備

自動車登録台数及び市電乗車人員の推移



都市交通マスタープラン

(H13.5)

公共交通網の提案

九州新幹線鹿児島ルート建設

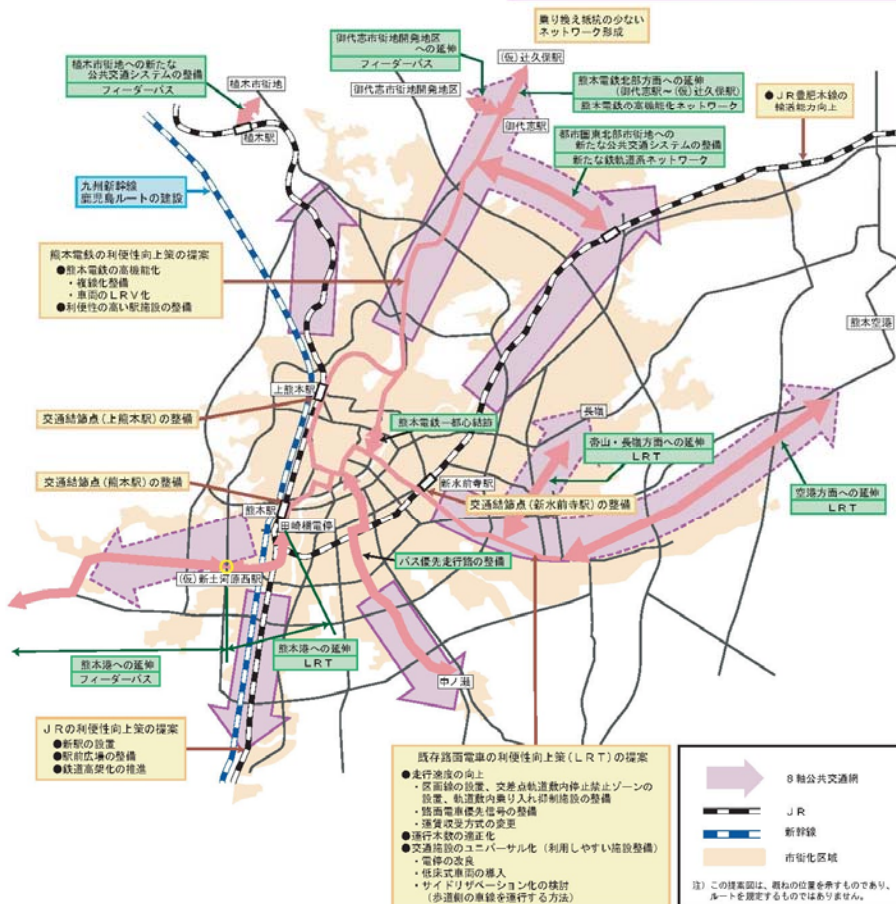
新たな基幹公共交通ネットワークの提案

既存公共交通機関の利便性の向上

九州新幹線鹿児島ルート建設と、都心部や熊本駅等へのアクセス性を高める8軸公共交通網の形成

◎九州新幹線鹿児島ルート

- ① J R鹿児島本線(植木方面)
- ② 熊本電鉄及び新たな鉄軌道系ネットワーク
(都市圏東北部)
- ③ J R豊肥本線
- ④ LRT(帯山・長嶺方面延伸)
- ⑤ LRT(空港方面延伸)
- ⑥ バス優先先行路(中ノ瀬方面)
- ⑦ J R鹿児島本線(松崎方面)
- ⑧ LRT、フィーダーバス(熊本港方面)



交通を取り巻く様々な問題は、自動車交通への過度な依存が原因



都心部や市街地内の移動、通勤・通学の移動については公共交通機関や徒歩、自転車が分担

郊外部の移動については自動車が分担

8軸公共交通網の形成

路面電車のLRT化

都市交通アクションプログラム

(公共交通関係プロジェクト)

(H15.6)

4-1 公共交通関係プロジェクトに関わる施策・事業

概ね10年後を目標とした公共交通関係プロジェクトについては、新駅や駅前広場など「交通結節点の整備」や既設の熊本電鉄や路面電車の「既存鉄道の強化」、バス路線上の「ボトルネック交差点の改良」、九州新幹線や在来線の高架化に伴う「道路整備」、既存鉄道の「延伸」といった、約60項目の施策・事業に取り組んでいきます。

これらの施策・事業を実行することにより、概ね10年後は、公共交通サービスの向上や、利便性の向上が図られ、各地域から都心部への公共交通による所要時間の短縮が図れます。

▼ 公共交通関係に関わる施策・事業一覧			
プロジェクト	NO.	施策・事業名	時期
8輪公共交通網の機能強化	1	熊本電鉄の高架化（A・T・S）	短期
	2	熊本電鉄の駅交通結節点の強化（北バイパス交差点の機能強化）	
	3	新駅の設置（（仮）日新駅）	
	4	路面電車の輸送能力の向上（複数連結車両、低床式車両の導入）	
	5	二里木交差点の改良	
	6	代路橋交差点の改良（右折専用レーンの2車線化）	
	7	堀川交差点の改良	
	8	違法駐車監視カメラの整備及び違法駐車車両の指導、取締強化（県庁通り）	
	9	違法駐車監視カメラの整備及び違法駐車車両の指導、取締強化（中心部）	
	10	バス専用レーンのカラー舗装化	
幹線となるバス網の総合的な整備	11	公共車両優先システムの導入（浄行寺～水道町）	短期
	12	公共車両優先システムの導入（徳重～桜町）	
	13	車線進行管理システムの導入	
	14	パークアンドライド駐車場の確保	
	15	車両の改善（低公害ノンステップバスの集中的な投入）	
	16	バス停施設の改善（上座、ベンチ等の設置）	
	17	一般市民への地域版バスガイドの配布	
	18	深夜バスの通年運行	
	19	公共交通利用促進キャンペーンの強化	
	20	乗り継ぎ割引制度の強化	
高齢者等の移動性のモビリティ確保	21	利用者に対する案内情報の提供（バスロケーションシステム）	中A
公共交通を利用しやすいまちづくり	22	武蔵ヶ丘東ニュータウン土地活用推進事業（光の森団地）	
交通需要マネジメント（TDM）施策実行	23	パークアンドライド利用促進等発活動	
8輪公共交通網の機能強化	24	ノーマイカーデー	
	25	上熊本駅の交通結節点の整備（東口駅前広場）	
	26	上熊本駅で熊本電鉄との結節	
	27	路面電車優先信号の整備（上熊本駅前）	
	28	熊本電鉄の駅交通結節点の強化	
	29	路面電車優先信号の整備	
	30	熊本駅の交通結節点の整備（西口）	
	31	路面電車の優先信号の設置（熊本駅前）	
	32	（都）熊本駅城山線（田崎駅）（4車線整備）	
	33	南熊本交差点の優先信号化	
幹線となるバス網の総合的な整備	34	横枝交差点の優先信号化	中A
	35	朝日野病院前交差点の優先信号化	
	36	バス優先走行路の設置（熊本県道）	
	37	京町丁交差点の改良	
	38	西小暮交差点の改良	
	39	横枝交差点の改良	
	40	子爵交差点の改良（子爵橋の改築に伴う改良）	
	41	田崎町交差点の改良	

右上に続く

▼ 公共交通関係に関わる施策・事業一覧

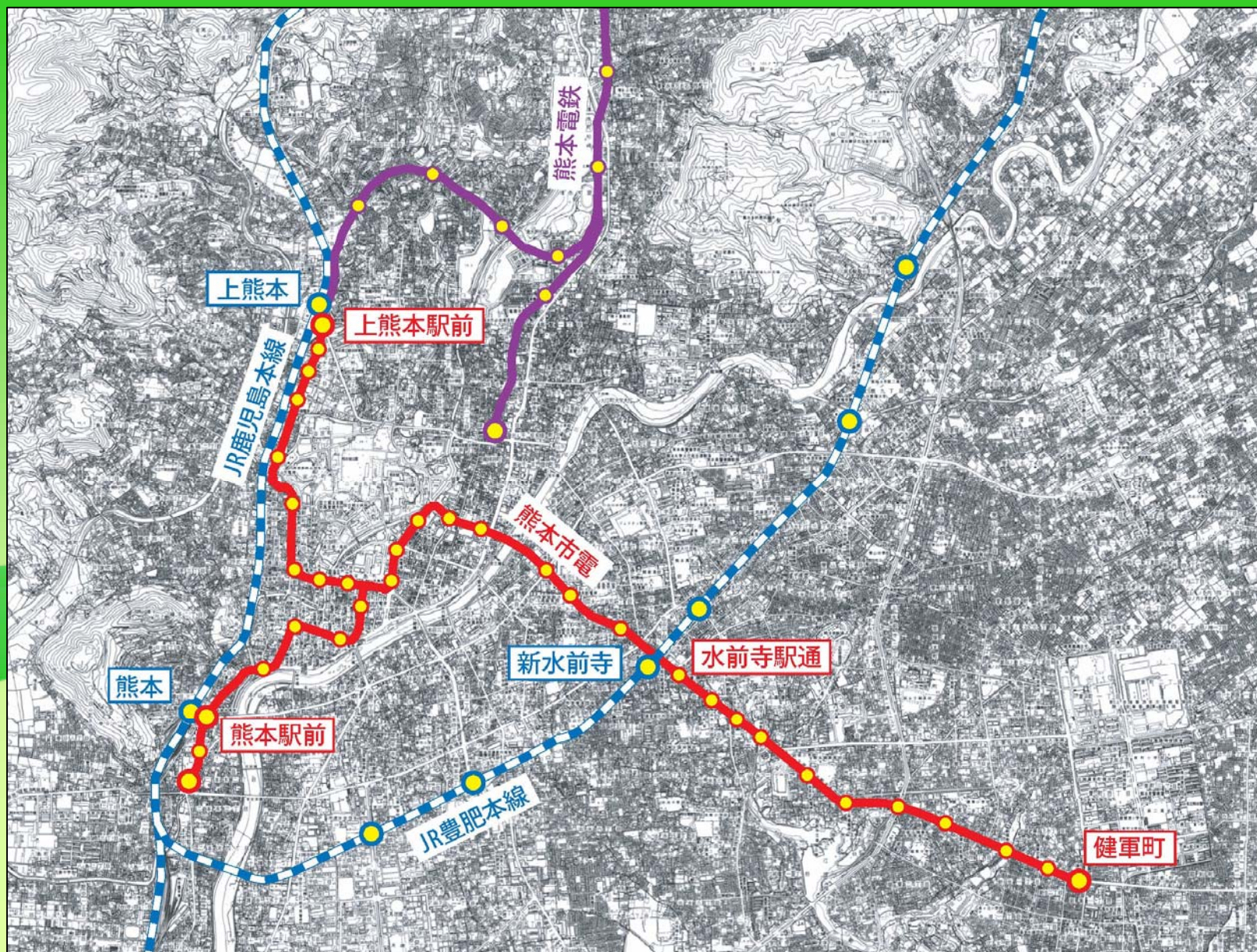
プロジェクト	NO.	施策・事業名	時期
都市交通にインパクトを与える広域交通網整備	42	九州新幹線鹿児島ルート建設	中A
	43	JRの鉄道高架化の推進	
鉄道分断地域の一体的なまちづくり	44	北薩地域への既存公共交通ネットワークの強化（都志志駅へのバス走行性の向上を図るため、バス専用レーン等の改良による道路37号の道路整備）	中B
	45	熊本駅前電停の改良	
8輪公共交通網の機能強化	46	熊本駅の交通結節点の整備（東口）	
	47	熊本駅前交差点の改良	
幹線となるバス網の総合的な整備	48	熊本駅へのバス接近表示システムの設置	
公共交通を利用しやすいまちづくり	49	西合志地区の道路整備	

▼ 別途検討課題

プロジェクト	NO.	施策・事業名	時期
8輪公共交通網の機能強化	159	電停改良	別途検討課題
	160	熊本電鉄の駅結節	
	161	路面電車の延伸（熊本～熊本方面）	
	162	路面電車の延伸（益城～熊本空港方面）	
幹線となるバス網の総合的な整備	163	国道57号熊本東バイパスの部分立体化に伴う国道交差道路対策（バス路線のボトルネック解消）	別途検討課題
	164	益城熊本空港IC付近へのバスターミナルの設置	
バス路線の新設・維持	165	バス網の再編	
交通需要マネジメント（TDM）施策実行	166	TDM施策	

※別途検討課題とは、別途関係機関及び事業者間で早急な方向性を示すべき課題です。

熊本市内の鉄軌道網



公共交通ネットワーク構築

JRとのアクセス強化



JR熊本駅



JR新水前寺駅



これまでの熊本市電の活性化策

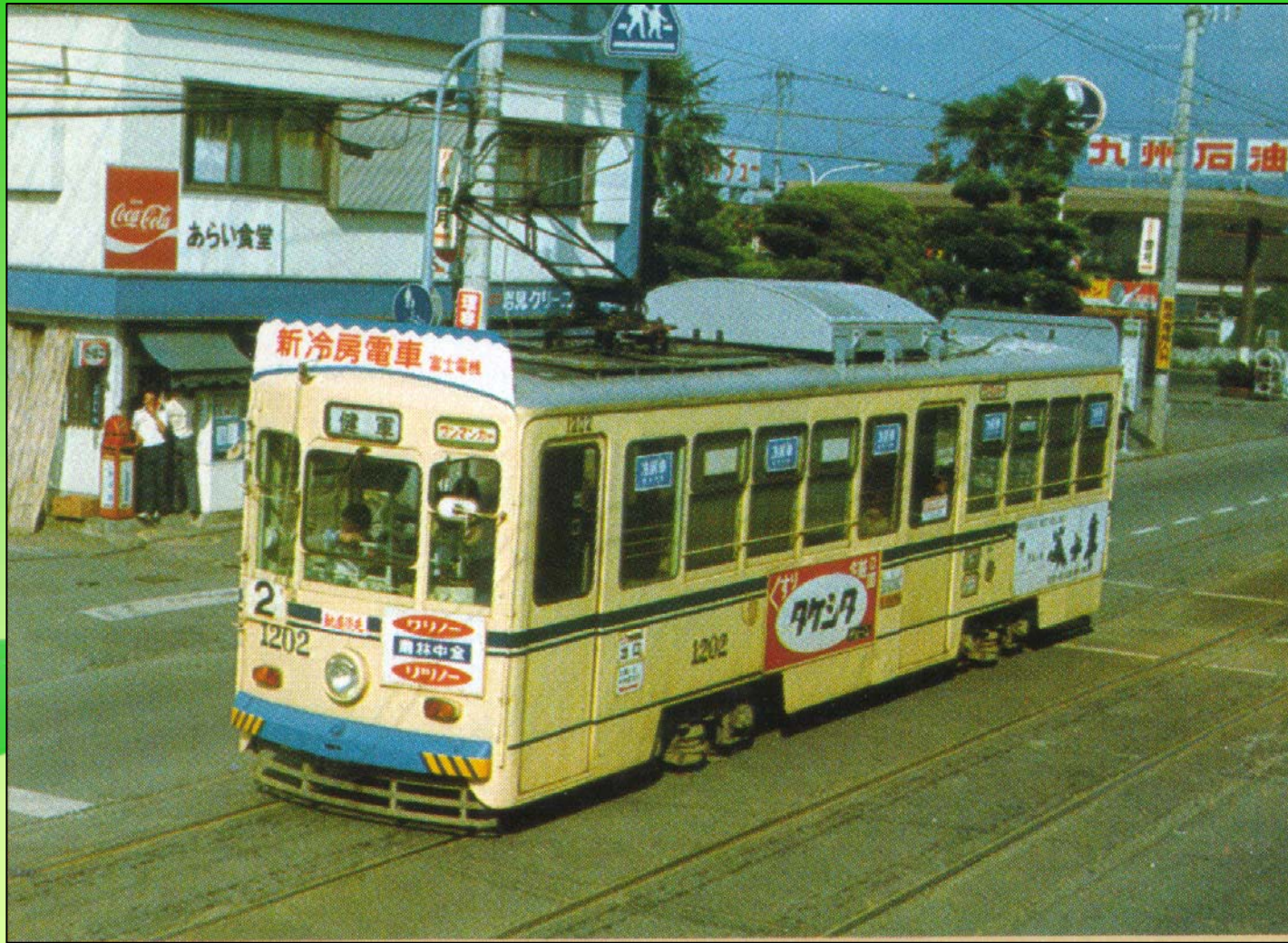
1 車両関係

① ラッシュ時における2車体連接車の運行



5014号車（5000型）

② 日本の路面電車で初めての冷房電車の運行



昭和53年 1202号車（1200型）

③ 日本で初めてのVVVFインバーター電車の導入



昭和57年 8202号車（8200型 火の国号）

④ 日本で初めての低床電車の導入



平成9年 9705号車（9700型）

⑤ 国際電車の運行



サンアントニオ号



桂林号



ハイデルベルク号

⑥ レトロ調電車の導入



平成5年 101号車（8800型）



2 走行環境

① 軌道敷内諸車乗り入れ禁止の措置



② 電停の改良



洗馬橋電停



水道町電停

3 運行サービス・ダイヤ

① 運行本数の増強

	平成元年度		平成18年度
辛島町～健軍町	3～4分（4分）	⇒	3分（4分）
熊本駅・田崎橋～健軍町	6分（6分）	⇒	5分（6分）
上熊本駅～辛島町	15分（15分）	⇒	8分（12分）

② 終車時間の延長

昭和63年12月	中心街の出発	10時30分	⇒	11時
平成5年8月	同上	11時	⇒	11時30分

③ 100円電車の運行

平成13年1月～3月の日祝
平成13年10月22日～28日
平成14年10月の土日祝
平成16年8月12日～9月3日

④ 終日無料運行

平成14年3月23・24日
平成15年3月21日～23日
平成20年4月20日

⑤ 150円均一運賃の実施

平成17年10月	130円均一運賃試行	
アンケート調査	均一運賃のほうが良い	83.4%
	150円までなら乗る	49.0%
平成18年10月～12月	150円均一運賃試行	
アンケート調査	均一運賃の方が良い	65.4%
	150円までなら乗る	65.6%
平成19年10月12日	本格実施	

⑥ 電車貸切制度の導入

平成元年9月

⑦ 生花電車の運行

平成2年5月～

母の日:カーネーション

父の日:バラ

敬老の日:菊



⑧ ビール電車の運行

平成18年7月～8月

平成19年6月～8月

平成20年6月～8月12日



4 乗車券類・その他

① バス4社（市営1社、民間3社）・電車（市電1社、民営鉄道1社）共通乗車券制度の実施

昭和57年4月～

② 電車・バス乗り継ぎ割引（プリペードカードのみ）の実施

平成11年8月～

③ 定期券割引率の引き上げ

平成14年9月～

通勤定期 30% ⇒ 40%

④ 環境（エコ）定期の導入

平成14年9月～

⑤ 企画カード

ハローキティカード

上熊本車両基地完成記念カード

上熊本上屋完成記念カード等

⑥ 一日乗車券の発売

昭和55年10月～
平成4年10月～
平成17年10月～

区間限定
全線
全線

500円
1000円
1000円 ⇒ 700円
施設利用割引券6枚付



⑦ 2日乗車券の発売

平成19年7月21日～

市電・市バスを2日間連続で自由に乗り降りできます。

市電・市バス2日乗車券

施設利用割引券付

2Dayパス

7/21 新発売

*発売場所：
交通局営業課
電車・バス車内
交通センター
熊本駅総合観光案内所等

小児券 (区間指定) **400円**

大人券 (区間指定) **800円**

施設利用割引券 10枚付

※市電は全線、市バスは指定区間内で連続する2日間に限り自由に乗り降りできます。

市が運営する施設・記念館に2割引で入館できます。

【利用施設・記念館】	夏目漱石内坪井旧居
熊本城	徳富記念園
旧細川朋部邸	熊本洋学校教師ジェーンズ邸
熊本博物館	小泉八雲熊本旧居
熊本市現代美術館	後藤是山記念館
熊本市動植物園	リデル、ライト両女史記念館

※各施設には、休館日がありますのでご注意ください。
※リデル、ライト両女史記念館は無料でご利用できます。
※熊本市内で両館は各賞賛会の団体料金となります。
※乗車バス等は、路線によって乗車券がある場合がございます。
※詳しくは営業課へお問い合わせください。

※お問い合わせ
熊本市交通局営業課
096-361-5233
熊本市交通局

⑧ 夏休み子ども定期券の発売

平成19年7月7日～

この定期券で市電・市バスに
期間中、何回でも
乗ることができるよ。

くまもと探検



夏休み子ども定期券

ひごっこサマーパス

7/7±発売!!

交通局 市電・市バス全線



夏休み子ども定期券
HIGOKKO
ひごっこサマーパス

小学 児童
まで

熊本市交通局発行

ひごっこサマーパス
スタンプラリー

期間/7月21日(土)～8月31日(金)

16路線のうち、熊本城をきむろ5カ所の
スタンプを集めると、
スタンプラリーリアル
交通局カードセットを
「ポスカードセット」を
プレゼント!!

●発売対象者/小学生以下(居住地不問) ●利用範囲/市電・市バス全線 期間中乗り放題

●利用期間/平成19年7月21日(土)～8月31日(金)

●発売額/1,000円 ●発売場所/交通局営業課、交通センター

※定期券発行時に、顔がはっきり写った写真(縦3.0cm×横2.5cm)、学校の名札等が必要となります。

※定期券購入者は、スタンプラリーに参加することができます。 ※お問い合わせ 熊本市交通局営業課 ☎096-361-5233

●申込には、顔がはっきり写った写真(縦3.0cm×横2.5cm)と学校の名札等が必要です。

●太枠内の項目は、必ずご記入ください。※使用者の個人情報、夏休み子ども定期券に関する情報以外では使用しません。

夏休み子ども定期券 申込書

ひごっこサマーパス

使用者の氏名	(才) 男 女
使用者の住所	(TEL)
使用者の学校名	(年生)

◎ 熊本市交通局

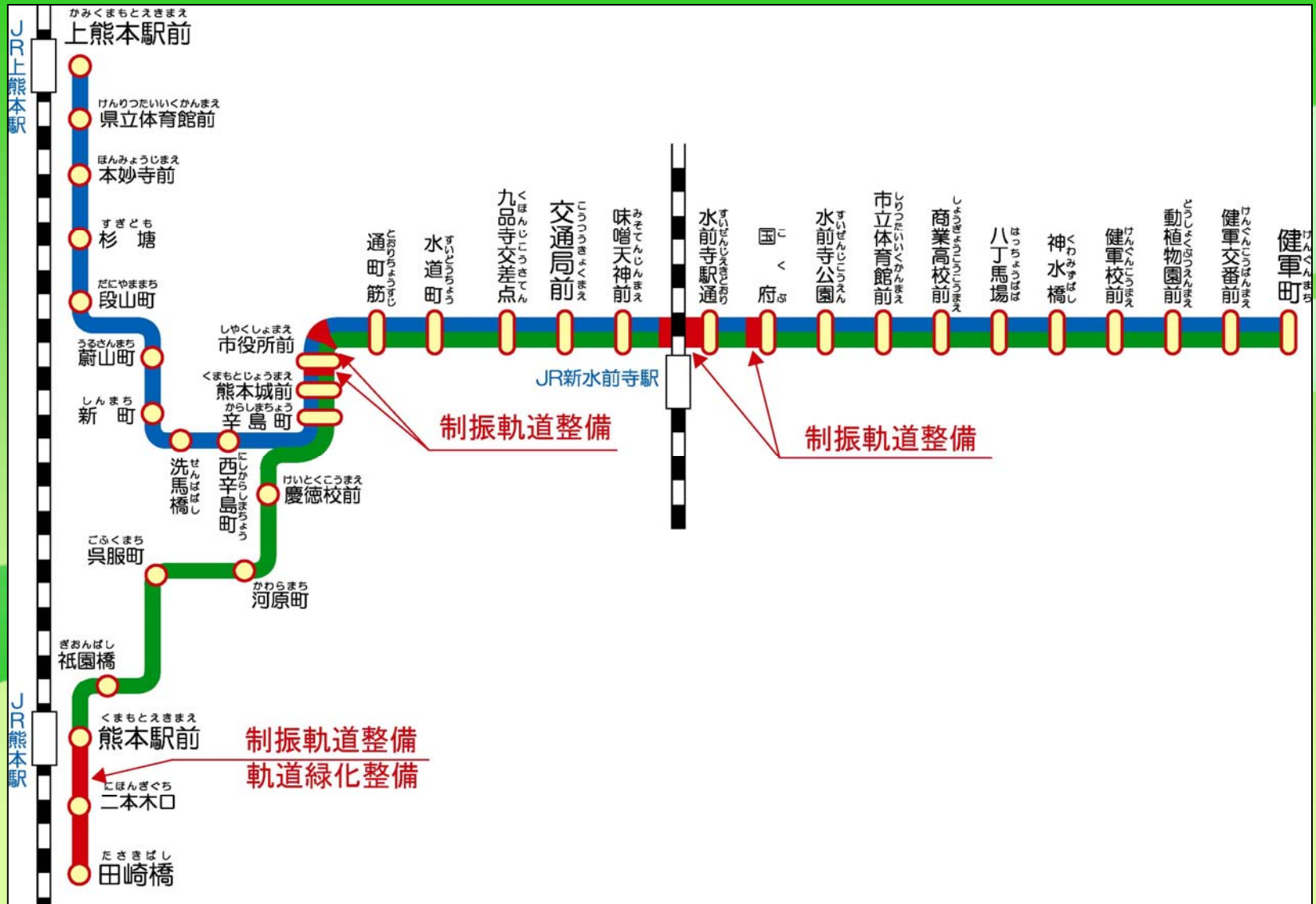
今後の熊本市電の活性化策

I Cカードの導入



I Cカードの使用イメージ （鹿児島市）

軌道の改良



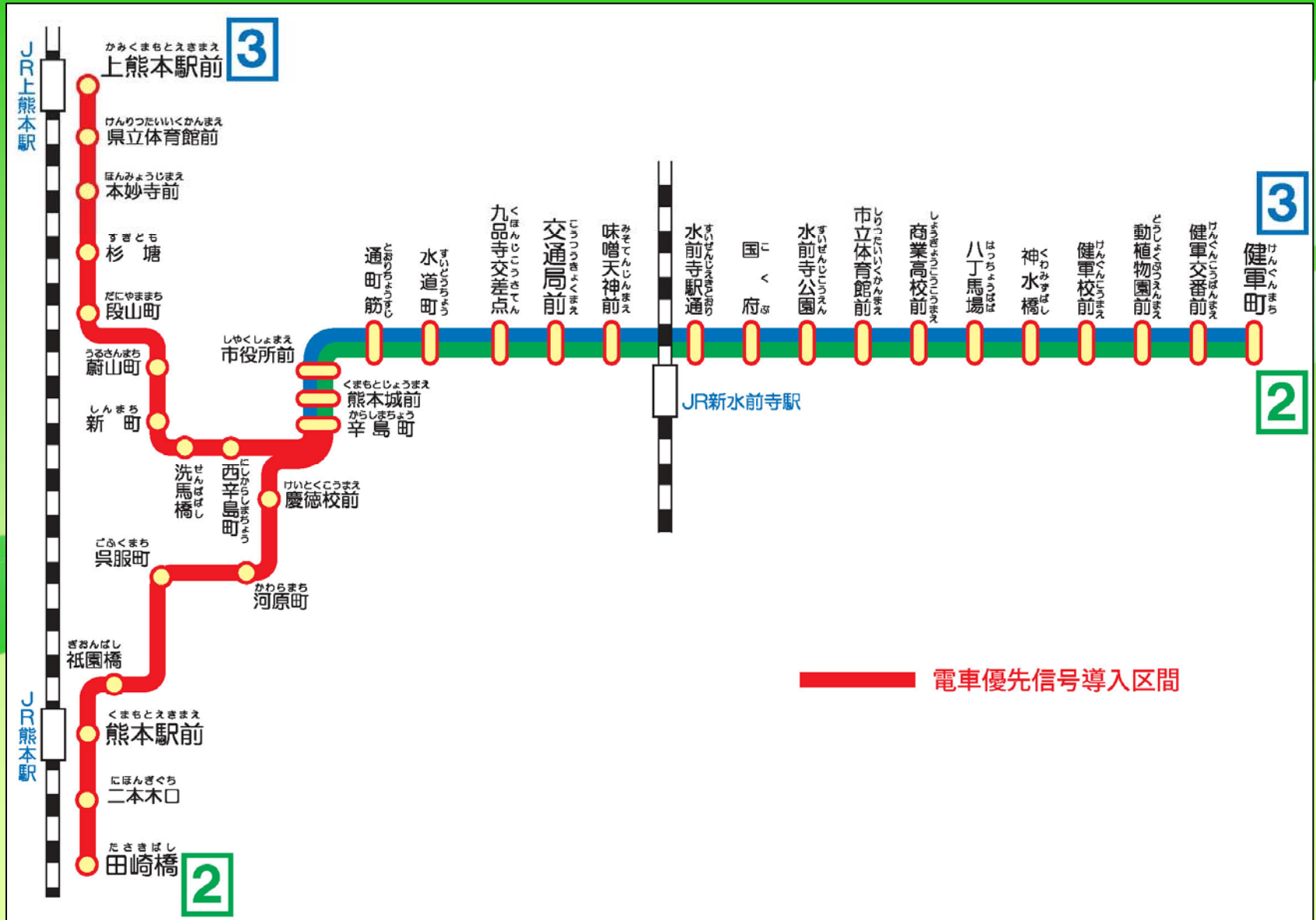
軌道改良予定箇所

停留場上屋の整備

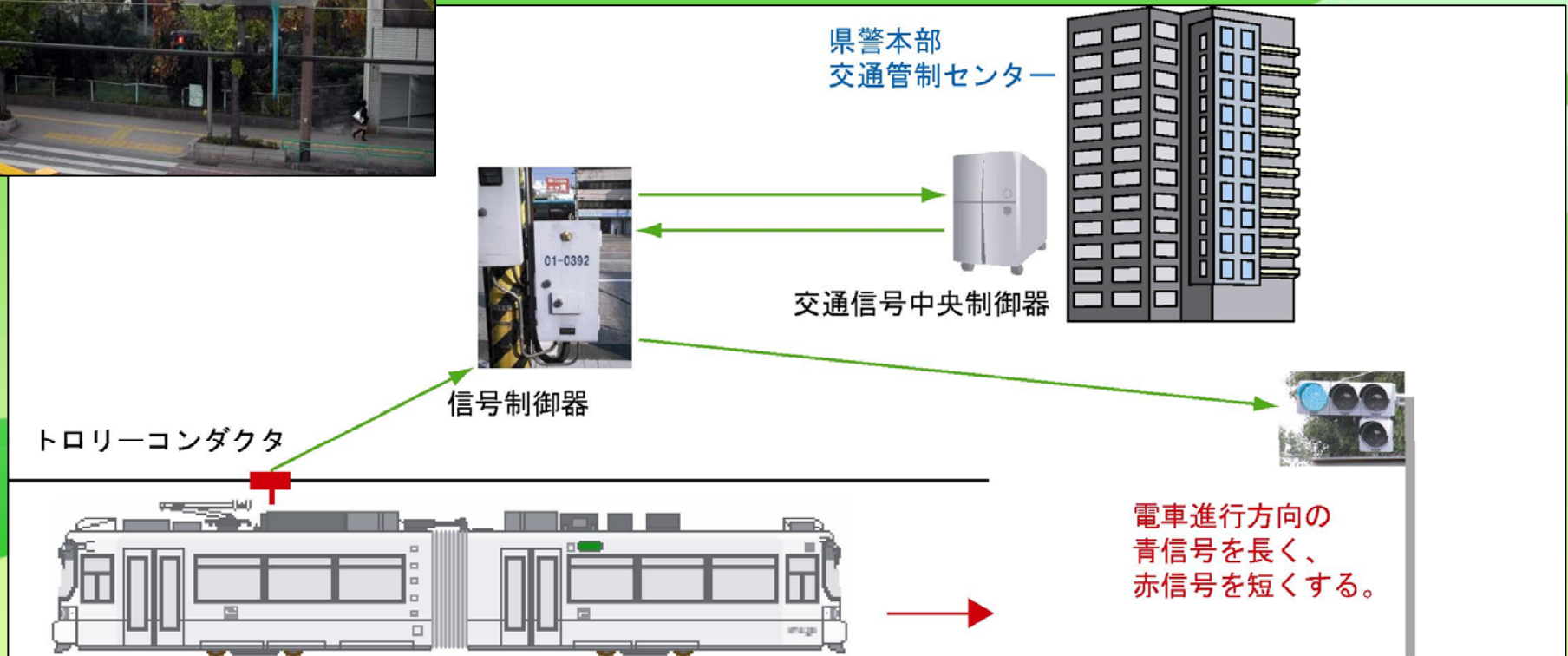


健軍町停留場（現況）

電車優先信号の導入



電車優先信号の導入



電車優先信号イメージ

中心市街地活性化に向けた施策展開

施策の基本方針

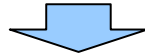
1 多様化する社会ニーズに対応した都市機能の更なる集積と更新を図る。



基本方針 1

人々が活発に交流し
賑わうまちづくり

2 地域特性を最大限活かし、多くの人々を引き付ける魅力を創出する。



基本方針 2

城下町の魅力が
あふれるまちづくり

3 中心市街地に気軽に訪れることができるよう公共交通網の整備に努める。



基本方針 3

誰もが気軽に訪れる
ことができるまちづくり

施策展開

○ 成果指標と達成目標

中心市街地の歩行者通行量（平日休日の平均値）
309, 381人/日（H18）→340, 000人/日（H23）

○ 施策の体系

- 1 魅力と活力に満ちた商業ゾーンの整備
- 2 多様なニーズを満足させる都市機能の充実
- 3 誰もが住みやすく暮らしやすい住環境の整備

○ 成果指標と達成目標

熊本城年間入園者数
825, 807人/年（H17）→1, 000, 000人/年（H23）

○ 施策の体系

- 1 城下町の風情を体感できる
歴史的建造物等の復元・整備と利活用の推進
- 2 城下町を回遊するおもてなしの展開と情報発信

○ 成果指標と達成目標

市電の年間利用者数
9, 160, 000人/年（H17）→9, 280, 000人/年（H23）

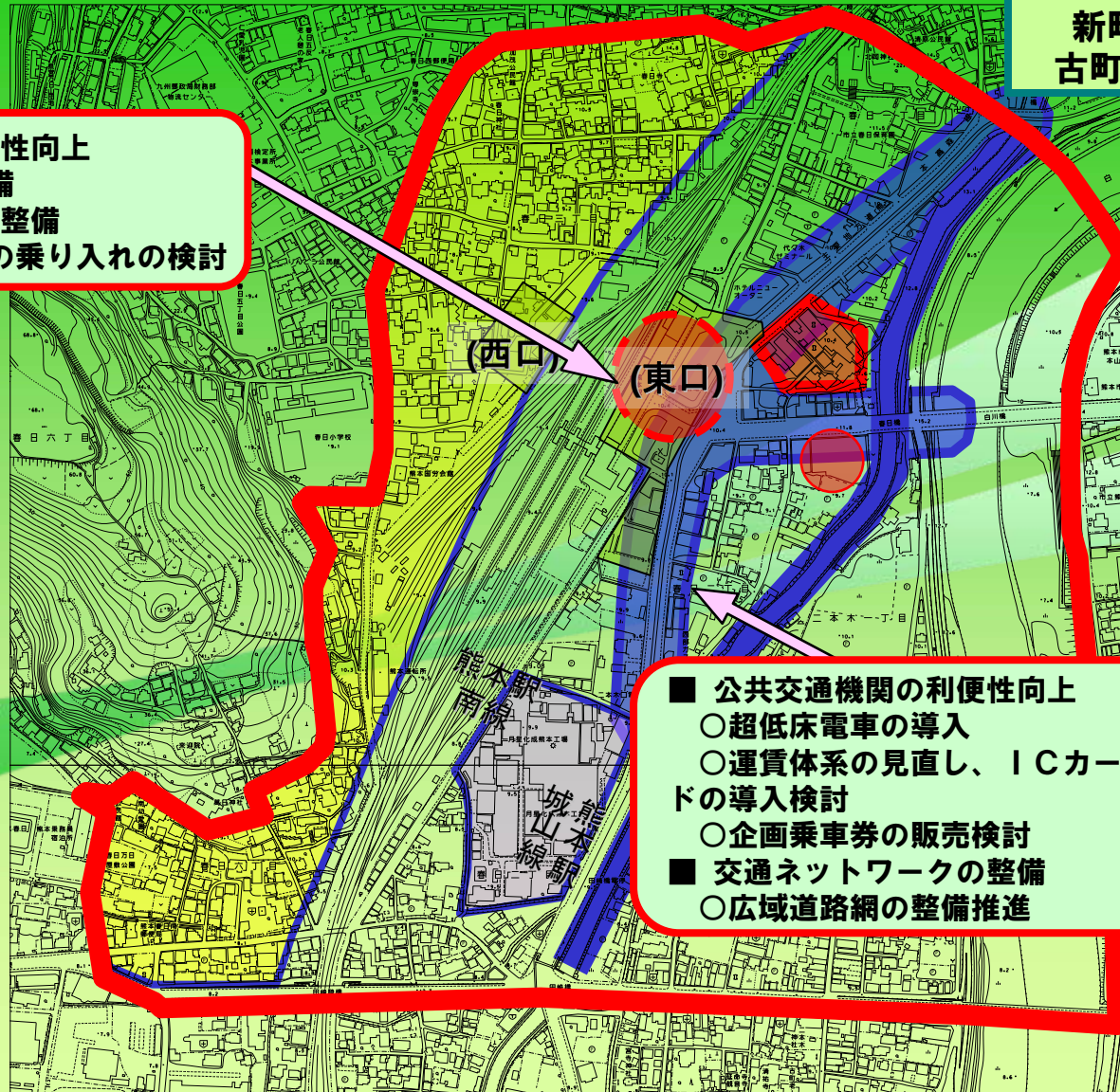
○ 施策の体系

- 1 市電を中心とした公共交通機関の利便性向上
- 2 九州新幹線の開業を見据えた交通ネットワークの整備

熊本駅周辺地区の整備方針

新町・
古町地区

- 公共交通機関の利便性向上
 - 市電優先信号の整備
- 交通ネットワークの整備
 - 市電の熊本駅舎への乗り入れの検討



- 公共交通機関の利便性向上
 - 超低床電車の導入
 - 運賃体系の見直し、ICカードの導入検討
 - 企画乗車券の販売検討
- 交通ネットワークの整備
 - 広域道路網の整備推進

熊本駅周辺の将来イメージ



おわり

